



目指せ高知県一の学校

～話の構成を工夫して提案しよう～



発行
令和3年3月
中部教育事務所



授業者 杉本 瞳 教諭 (南国市立北陵中学校)

教材 「魅力的な提案をしよう」(光村図書 国語2)

単元で目指す資質・能力/言語活動

- 自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。【A(1)イ】
- 論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。【A(1)エ】

本単元では、相手や目的を意識して、構成を工夫したり内容を吟味したりする必要性を生徒に明確に持たせるために、最終的なゴールを「次年度の全校集会で新1年生に向けて提案する」とした。具体的な言語活動は、次年度の新3年生として、「高知県一の学校」を目指し、よりよい北陵中学校にするためのプランをプレゼンテーションの形式で提案するというものである。そして、根拠を明確にして考えを述べさせるとともに、根拠の示し方や説明の分かりやすさ、話全体が与える印象などにも配慮して、内容や構成を工夫させることを目指した。

単元計画 (全9時間)

題材の設定、情報の収集、内容の検討 (2時間)	構成の検討、考えの形成 (5時間)	表現、共有 (2時間)
【特別活動で、「よりよい北陵中学校にするため」に現状や課題等を考え、どんなことで高知県一を目指すのか合意形成を図る。(行動力・仲の良さ・自分たちで盛り上げていくことができる)】 1. 学習のめあてや進め方をつかみ、学習の見通しをもつ。提案内容を決定する。 2. 提案内容とその根拠となる事例を探し、話の構成を考える。 【技術科でPPを作成し、確認する。】	3・4. プレゼンテーションを聞き合っ て、意見と根拠のつながりを評価し 合い、修正する。 5 (本時)・6. 「魅力的な(新1年生が 実行したいと思える)」プレゼンテー ションについて考え、構成や話し方 について検討する。 【技術科でPPを修正する。】 7. 前時の内容を踏まえ、発表練習を 行う。	8. 現1年生に向けて プレゼンテーションを行う。 9. 他の班のプレゼンテーション から学んだことを踏まえて、 自分自身の発表を振り返る。 (次年度全校集会で発表するプ レゼンテーションをアンケート 結果に基づいて決定する。)

本時の目標 新1年生にとって「魅力的な」発表にするために必要な観点について考え、プレゼンテーションの構成を再検討できる。

本時の展開	学習活動	指導上の留意点 (◇予想される生徒の反応)
1 本時のめあてを提示する。		・本単元における「魅力的」とは「新1年生が実行したいと思える」ものであるということを確認する。
2 相手に応じた発表とはどのようなものなのか考える。 ○改めて目的、相手を確認し、「新1年生」が実行してみようと思える提案にするためにはどのような点に注意して発表を見直したらよいか考え、クラスで共有する。		・「新1年生を惹きつける構成の工夫があるか(話の順序、中心的な部分と付加的な部分、意見と根拠のつながり、根拠の適切さなど)」などプレゼンを改善するための観点を見出させ、構成の工夫を中心に考えることを確認する。
3 クラスで考えた観点を踏まえ、他のグループにアドバイスを求める。 ○伝えたい内容が効果的に伝わるか、また、相手に配慮した構成や内容になっているのかという観点に沿って、個人⇒班で吟味する。原稿にふせんを貼り、代表者が他グループへアドバイスをしに行く。		◇楽しい内容から始めて興味を引き付けた上で、課題を提案する順序にしよう。 ◇新1年生に北陵中ならではの○○を一緒に楽しんでもらうために、この○○を詳しく説明する内容をつけ足そう。 ◇北陵中のことをよく知らない新1年生からの質問を想定しながら、新1年生が納得できるような根拠を示そう。
4 他の班からのアドバイスを聞き、プレゼンテーションの構成を再検討する。		・ふせんの内容を確認後、再度自分たちの発表動画を視聴し、プレゼンテーションの構成を再検討する。
5 本時を振り返り、次時の見通しをもたせる。		・次時、具体的にどこをどのように直していくとよいか一人ひとりふせんに書く。

授業研究会のポイント

「話すこと・聞くこと」の授業を通して見方・考え方を育てる

1 「話すこと・聞くこと」で「知識・技能」を身につけるために

「話すこと・聞くこと」は「思考力・判断力・表現力等」の一領域であるが、「知識・技能」を身につけるためにも、何に気をつけて提案についての話し合いをしなければいけないかを教師がしっかり教えることが大切である。

①相手・目的に応じて話し合いや発言の仕方が変わること。

- A 少ない時間で合意形成する場合…提案の前提を確認してから話し合う。(例：高知県一の学校とはどんな学校か。)
- B いろんな考えや可能性を出させる場合…別の視点から意見を出させる。(例：「私の立場では～。」)

②提案の長所だけでなく短所も一緒に発言させること。(短所をどう補うかも話し合える。)

2 「構成の工夫」に焦点をあてて推敲するには

推敲においては右の3段階に区別して推敲させると、何について推敲すればよいのかを生徒が理解でき、効率的に学習が進む。本時の場合、「新1年生」

- A 誤字・脱字、主語・述語や修飾語の係り受け⇒一定レベルで直せるもの
- B** 相手・目的に合わせて適切かどうか
- C よりよい表現にするにはどうしたらいいか⇒高いレベル、アドバイスを共有するのが限度

にとってプレゼンが適切かどうかを構成の工夫に絞って検討する学習なので、推敲の視点としては、Bの段階が適切である。

本時の目標である「構成の検討」とは、「新3年生」として下級生と一緒に高知県一の学校にしていきたい、という自分の立場や、提案したい内容が明確になるように論理の展開等を考えるということである。よって、推敲のB段階に沿って、「自分が新1年生になったつもりでプレゼンを聞いて、提案を一緒にやろうという気持ちになったかどうか」という視点にしばってプレゼンを検討すると、「構成の工夫」により焦点を当てて考えることができたのではない。中学校2年生の学習では、話を構成する部分だけを確かめるだけではなく、話の全体を俯瞰して、聞き手を意識した話の進め方を工夫することで、自分の立場や提案したい内容がより明確になることをおさえておきたい。

3 身につけさせたい資質・能力のために働かせる「見方・考え方」の明示

単元の評価規準でおおむね満足できる生徒の姿を具体的に設定して指導案に明記した。それに基づいて、単元の中で生徒がどのような見方・考え方を働かせていくのか【*注1】 それに対して教師がどういう手立てを行うのか【*注2】を、言語活動に沿って具体的に示した。

たとえば「意見と根拠の関係に着目し、目的に対して話の構成を工夫している」を「期待する生徒の姿」とし、それに対する「教師の手立て」を「パワーポイントの下書きと原稿がセットになった用紙を1枚ずつ仕上げさせる」とすることで、生徒が話のまとまりや順序を意識しやすく、「構成」に着目して考えやすくなり、育成を目指す資質・能力をよりよく身に付けさせることにつながった。

参加者より

- 「話すこと・聞くこと」の授業で子どもたちに具体的にどのような力が身につけばいいのか悩むことがある。相手意識・目的意識をもたせたうえで、観点をしばって構成や内容を検討させていくことが必要だと感じた。
- 英語担当として、国語から学ぶこと、また、国語につなげられることが多くあると思う。「話すこと」の学習の中で聞き手に分かりやすい展開や構成などを考えたりすることは英語でも同じであるので、これからも意識させていきたい。

4. 単元の流れ 全9時間 (本時5/9)	題材の設定、情報の収集、内容の検討 (2時間)	構成の検討、考えの形成 (5時間)	表現、共有 (2時間)
生働見 徒か方 のせ・ 姿で考 え方 を 教観見 師か方 の手立 て (※注2)	【特別活動で、「よりよい北陵中学校にするため」に現状や課題等を考え、どんなことで高知県一を目指すのか合意形成を図る。(行動力・仲の良さ・自分たちで盛り上げていくことができる)1時間】 1. 学習のめあてや進め方をつかみ、学習の見通しをもつ。提案内容を決定する。 2. 提案内容とその根拠となる事例を探し、話の構成を考える。 【技術科でPPを作成し、確認する。1時間】 (※注1)	3・4. プレゼンテーションを聞き合っ て、意見と根拠のつながりを評価し 合い、修正する。 5・6. 「魅力的な(新1年生が実行し たいと思える)」プレゼンテーショ ンについて考え、構成や話し方につ いて考え、構成や話し方について 検討する。 【技術科でPPを修正する。1時間】 7. 前時の内容を踏まえ、発表練習を 行う。	8. 現 1 生 の 表 演 9. 他 学 の 集 団 定 8. 現 1 生 の 表 演 9. 他 学 の 集 団 定

